

# 報告 令和4年度町政地区懇談会

問政策課 ㊦(57)4216

## 若林区(令和4年10月14日)

**質問** 自治会長は1年交代で自分はありきたりな仕事しかしていないが、他の自治会でどのような活動をしているのか気になっている。他自治会の素晴らしい活動等を紹介するコーナーを「広報のぎ」に作り、町民全体に周知してほしい。それにより自治会活動に対するイメージを掴むことができ、「私も自治会に入ろう」と考えてもらえるのでは。私も自分の自治会のことは分かるが、同じ若林区内の他自治会のことはさっぱりわからない状態なので、コーナーを作って自治会の良さをPRしてほしい。

**回答** 総合サポートセンターで毎月発行している「よりそい」に町のキャラクターであるのぎのんのマンガも掲載しているので、そのような形で皆様に親しまれるような方法を考えられればと思います。

県内25市町の自治会加入率は65~66%ほどだったと思いますが、野木町における加入率も県内平均と同程度でございます。以前は75~77%ともっと高かったが、段々減少傾向にあります。自治会長・班長の皆様には回覧板や広報の配布等でご面倒をお掛けし本当に申し訳なく思っています。

各自治会の楽しみについて他自治会の皆様にもわかるように周知していく義務もあると思いますので、素晴らしいご意見として承りたいと思います。町広報紙等は良い宣伝材料となるため、工夫してまいります。

## 南赤塚区(令和4年10月29日)

**質問** 町の防災メールを受信しており、イノシシの目撃情報について入ってくるが、近隣の古河や小山を含めてイノシシをどうするか検討しているのか。私自身も何回も目撃しているし、思川の中にある遊歩道を自転車で走ったあと、その付近の目撃情報がメールで入ってきて非常に怖い思いをした。だいたい居場所は検討つくと思うし、子供たちも安心できないと思うので、対策を考えていれば教えていただきたい。

**回答** 現在、協議会において捕獲ワナを使ってイノシシを捕獲しているのが現実的な対策となっています。しかし捕獲頭数をみても個体数がかかなり増えていると思われるので、今後ワナを増やすのか、これ以外の対策を考えるのか検討していきたいところですが、現実的に捕獲ワナを仕掛ける以外の対応はなかなか難しい面がありますので、現在の捕獲方法で進めていくようになると思います。

## 松原区(令和4年10月30日)

**質問** 町体育センターの建て替えについて。事前質問事項に対する回答の中で、将来的に実施する予定であることが分かったが、具体的にいつ頃を予定しているのか示してもらえるとありがたい。公共施設であるため、他の施設との優先順位の兼ね合い等もあると思うが、若年層から高齢者まで幅広い年代の方が利用し使用頻度も高い体育センターについては、少しでも早く具体的な計画を進めていただきたい。

**回答** 確かに使用頻度等の問題もありますが、建築年に関しては公民館・体育センターよりも役場本庁舎の方が古く、また学校についても大規模改修を実施したところですが、改修工事未実施の小学校では建築から50年ほど経過しているところもあります。建て替えについてはどうしてもそのような施設が先になってしまうため、体育センターの建て替えにあたっては今後10~15年ほどの期間がかかるものと考えていただきたいと思います。

**後日回答** 体育センターは1977(昭和52年)年に建築され今年で建築から45年が経過し、老朽化は進んでおりますが、長寿命化計画策定時の調査結果においては評価基準を満たしております。

今後は、フロア照明のLED化を含め、傷んでいる箇所は改修し、皆様に広くご利用いただける体育センターの運営に努めていきたいと考えております。

## 佐川野区(令和4年11月4日)

**質問** 新4号へ抜ける道路はどうなっているのか。

**回答** 現在古河市と協力して進めているところです。用地買収が一部区間で進んでいないところがありますが、鋭意努力し概ね97%程度進んでいます。買収出来たところは順次工事を進めており、野木地内ではありませんが、一部完成したところは生活道路として共用し使用しています。全線開通までには予定としてはあと数年かかるのではと思います。国の補助金の関係もあり、順調に買収が進んでいけば早期の整備ができましたが、自然災害とも重なり国の予算の付き方の問題もあるので当初の計画からは若干遅れてはいますが、早期開通に向けて進めておりますのでもう少しお待ちいただければと思います。

町では、昨年度開催希望のあった区へお伺いし、町民の皆様と直接意見交換する「町政地区懇談会」を開催しました。懇談会では、町から予算概要や重点施策等の説明後、皆様が各地区で抱えている問題や町への要望等についてお聞きしました。今月号では各地区からいただいたご意見の一部(要旨)をご紹介します。なお、ご紹介する内容は町ホームページにも掲載しております。

## 丸林西区(令和4年11月5日)

**質問** 中央公園内のベンチが老朽化しているので、交換等の対応をお願いしたい。

**回答** ベンチについては、公園内の状況を確認いたしまして対応いたします。

## 中谷区(令和4年11月18日)

**質問** 土地改良は何年計画であるか。

**回答** 今年度(令和4年度)10月28日に計画確定となりましたので今後進めることとなりますが、計画通りいきますと令和10年度頃が工事終了予定となっております。

## 新橋区(令和4年11月19日)

**質問** 電柱に浸水想定水位の表示があるが、どのような意味なのか。

水害時の避難判断基準について、国土交通省が浸水ナビというアプリを提供しているのですが、避難判断をおこなうために活用してはどうか。

**回答** 電柱に表示しているものは、浸水の最大想定の水位を表示しております。この表示は東京電力で立てた電柱でないと手続き上難しいため、近くに東電柱がない場所では、想定している場所とは若干離れてその場所の想定水位を表示しております。この表示方法につきまして住民の皆様がご不安に思われているとのことですので、区長様や自治会長様とも協議し考えてまいりたいと思います。

## 友沼区(令和4年11月19日)

**質問** 私の自治会にも空き家が3軒あるが、野木町として先ほどの予算の中に入っていた「空き家対策」の詳しい対策を聞かせていただきたい。

**回答** 空き家については町全体でかなり増えており、令和3年度に水道メーターや居住状況など確認しながら空き家の全体調査をさせていただきました。

空き家の調査では建物の老朽度もABCDEに分けて判定を行い、特にE判定につきましては健全な管理をしていただくようその所有者に通知や連絡をしております。なお、E判定で相続が途絶えてしまった空き家が1軒ございまして、それにつきましては、今年度で行政で取壊しをするための手続きをすすめております。

良好な形で管理をいただいても、空き家は老朽化いたします。もし近隣から苦情が入った場合は町の空家等対策の係から所有者へ連絡をしております。何かございましたら政策課移住定住促進班までご連絡いただければ、対応できると思います。

## 潤島区(令和4年11月25日)

**質問** ごみの分別の袋について伺いたい。ひとつは、先日、下野新聞か何かで下野市、小山市、野木町で可燃ごみの袋は市町指定のごみ袋を来年度から使うという記事を見た。11月頃からアンケートで市民の意見を伺うとあったが、野木町でも本当にあるのか？来年度ではなくても将来的にあるのか聞きたい。

**回答** 可燃ごみにつきましては、下野市と小山市と野木町の2市1町で共同で処理をしております。可燃ごみを指定の袋にするのは、指定袋を使っていただくことで少しでもごみを減らす意識を持っていただきたいからです。

時期は、来年度からではなく、今、小山広域保健衛生組合を中心に指定袋にするためにはどういう形でやっていけば良いか計画を作りはじめた段階です。

アンケートはそれぞれの市町で集めていくことになっておりまして、小山市と下野市はそれぞれ2千通、野木町は千通出して、ご意見をいただきながら計画に反映していこうと考えております。

計画策定後に指定袋にしていきますが、早くても令和6年度のいずれかの時期になる目安です。なぜ令和6年度なのかといいますと、可燃ごみの新しい焼却施設が令和9年度にできる形ですので、それまでにごみを少しでも減らしていくため、施設稼働の少し前の年度から指定袋を導入するスケジュールとしております。

この指定袋による減量化を図っていくということにつきましては、おそらく来年度の半ば以降にはっきりした形が決まれば、住民の皆様への説明会を開く予定でおります。説明会をすることで理解を深めていって協議する予定になっています。まだ、細部をつめている状態ですので、現時点ではこの程度のお話しかできないのですが、概略といたしましてはこのようなとなっております。